

第9次総合計画 図書掲載範囲

総合計画とは（計画の意義）

豊田市のまちづくりの羅針盤

・事業の積上げではなく、施策の方向性を示す弾力的な計画

計画の背景

○豊田市の特性・強み

- ・世界的な自動車産業の拠点として発展してきた都市
- ・豊かな自然、多様な歴史・文化を持つ都市
- ・多様で充実した担い手を有する都市

○社会環境変化

- ・人口減少社会の到来
- ・ますます変化の激しい予測困難な社会の到来

資料②

長期を展望して設定する 普遍的な 豊田市のまちづくりの方向性

ミライ構想

将来像	○つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた ・「つながり」を通じ、多様な価値や可能性を創出するまち ・「チェンジ」と「チャレンジ」を繰り返し、しなやかに変化し続けるまち	
まちづくりの基本的な考え方 （わたしたちが重視する価値観・行動基準）	○発想の転換 ・つながり 関係性の拡がり深まり重視 ・あるものを生かす ・かけ算（組み合わせ）思考 ・多様な主体が楽しむまちづくり	○3つの「変える」 ・見方を変える<気づく> ・思考を変える<考える> ・行動を変える<行動する>
将来都市構造 （将来像の実現に向けた「土地利用」と「都市の骨格」）	○拠点連携型都市 ・メリハリのある居住や機能の更なる集積、情報基盤を加えたネットワークの強化 ・産業誘導エリア、えきちか居住誘導エリア	

資料③

ミライ構想の実現に向けて 5年間で特に注力する 取組の方向性

2030
ミライ実現戦略

取組方針	①ともにこどものミライに夢と希望をつくる【人の視点】 ②ともにミライにつながるまちをつくる【人を支える基盤（まち）の視点】	
取組目標（めざす姿）	①こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できるまち ②誰もがつながり合いの中で安心して暮らせるまち ③産業中枢都市として深化し続けるまち ④将来を展望した都市環境の形成を進めるまち ⑤脱炭素社会の実現に挑戦するまち	まちの状態指標
施策	（取組目標を実現するための方向性）	

資料④

（仮）施策別事業集

（仮称）ミライ実現戦略2030の実現に向けて、当該年度に行う施策・事業

毎年公表

